

# 繋ぐを創る 世界を繋ぐ

世界中のモノづくりとネットワークを繋ぐ・創る“メーカー商社”

2024年1月26日（金）

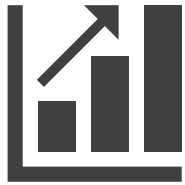
## 会社説明会資料

**RIX** リックス株式会社

証券コード：7525（東証プライム市場）

## Point 01

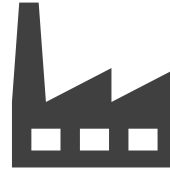
### 第2Qとしては 過去最高業績



過去最高で推移している第2Qの  
業績の要因と通期の見込みについて  
ご説明します。

## Point 02

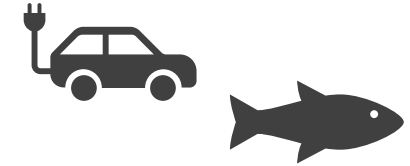
### インドに新工場の 建設を決定



建設決定を発表したインド工場に  
ついて、拠点展開の背景や、同国で  
のビジョンについてご説明します。

## Point 03

### 長期経営計画と 関連トピックについて



長期経営計画「LV2030」について、  
軸の一つに掲げている成長分野での  
取組み・トピックなどご説明します。

01

**会社概要**

02

**今期 第2四半期決算**

03

**今期 通期業績予想と株主還元**

04

**成長戦略（長期経営計画とトピック）**

**1**

# 会社概要

## 経営理念

私たちは、常に未来を見つめ、販売・技術・製造・サービスの高度な融合をめざす「メーカー商社」として、世界の産業界に貢献します

創業

1907年



創業以来黒字経営

115年



国内拠点数

36か所



海外拠点数

11か所



売上高

452億円

2022年度 / 連結



従業員数

707人

2023年3月時点 / 連結



顧客数

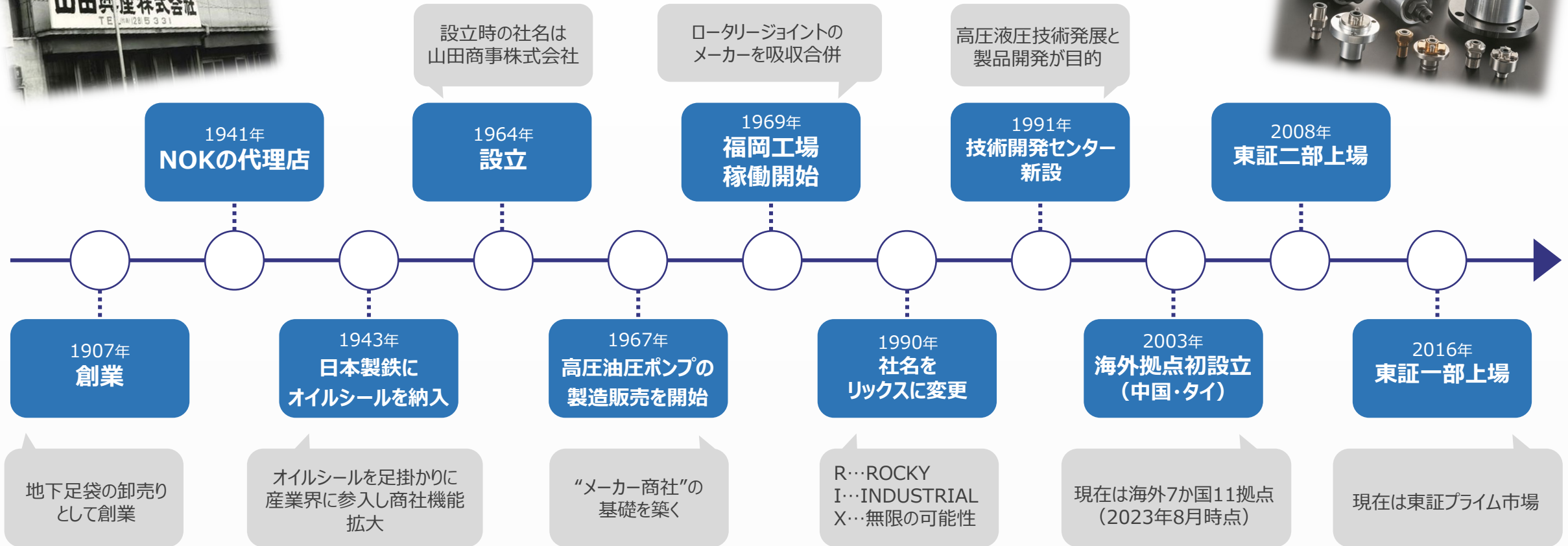
2,900社



仕入先数

2,600社





## 4つの機能を融合させ、国内外の産業界大手企業の課題を解決



製品  
商品  
サービス  
を提供

**顧客数** 約 **2,900** 社

<b>鉄鋼</b>  日本製鉄 JFEスチール	<b>自動車</b>  トヨタ自動車 デンソー	<b>電子・半導体</b>  キオクシア ソニー
<b>ゴム・タイヤ</b>  ブリヂストン 横浜ゴム	<b>工作機械</b>  DMG森精機 ヤマザキマザック	<b>高機能材</b>  旭化成 カネカ
<b>環境</b>  日立造船 クボタ	<b>紙パルプ</b>  日本製紙 大王製紙	<b>食品</b>  サントリー コカ・コーラ

## ものづくりの顧客が製品を生み出す下支え

大手メーカーの生産現場（工場）に製品・商品・サービスを提供

- 自社製品
- グループ会社

仕入先  
(パートナー企業)  
約2,600社

リックス 営業  
国内36か所  
海外7か国

取扱品 = 約3,000品  
各種サービスも展開

営業担当

顧客  
約2,900社

大手メーカーの  
生産現場（工場）

鉄鋼、自動車、電子・半導体  
ゴム・タイヤ、工作機械、食品  
高機能材、環境、紙・パルプ





生産設備（工場）向けの機器・部品などを販売

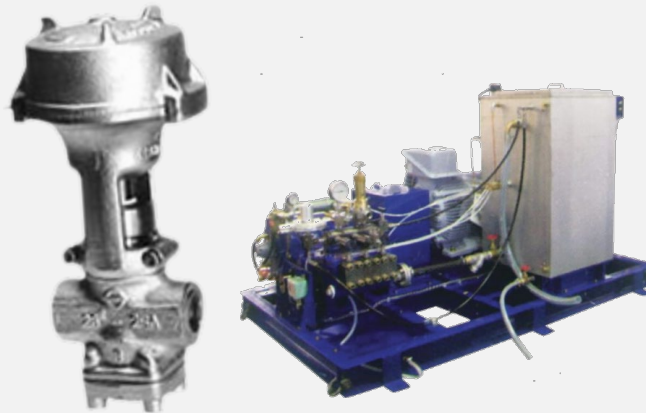
## 当社が取り扱い・販売しているモノの区分

### 01. 自社製品



自社工場で作る製品

### 02. グループ製品 パートナー製品



当社グループ会社や  
パートナー企業の製品

### 03. 仕入商品



約2,600社から仕入れ  
る幅広い商品群



- 福岡県糟屋郡
- 工場 + 研究開発施設
- 100人が勤務※2022年3月時点

## 流体制御に関する自社製品を製造・販売

### ロータリージョイント



固定体から回転体に  
流体を漏らさず供給

### 洗浄装置



半導体の製造工程  
材料の異物を除去

### 浮上油回収装置



クーラント内に混入した  
油を回収する装置

### 湿式微粒化装置



材料を微粒化する装置

#### 対象業界

- 鉄鋼
- 自動車
- 電子・半導体
- 工作機械
- ゴム・タイヤ など

- 電子・半導体
- 自動車

- 自動車
- 工作機械

- 鉄鋼
- 電子・半導体
- 食品
- 医薬品
- 化粧品 など

# 当社グループやパートナーの広範な製品・サービスを提供

### 加硫用バルブ



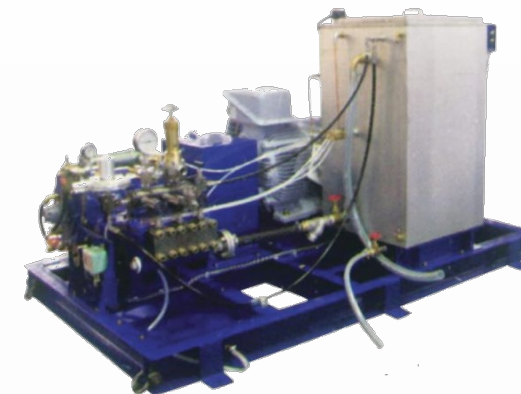
蒸気・気体・水などの  
流体に適応する弁

### ベアリング再生



古くなったベアリングを  
磨く・削るなどして再生

### 超高压ポンプユニット



主に洗浄装置で活用され、  
独特な形状のジェット  
で広範囲を洗浄可能

対象業界

- ゴム・タイヤ
- 自動車

- 鉄鋼

- 鉄鋼
- 自動車
- 電子・半導体
- 造船
- ゴム・タイヤ など

## 仕入先2,600社の商品から最適なソリューションを提供

### オイルシール



各種機械の回転部に使用され、液体漏れや外部からの異物混入を防ぐ部品。

### インバーター



デンマークの「ダンフォス社」の電気制御装置で、国内では当社だけが取り扱い。

### RO/UF膜



水をろ過する膜。浄水場や工場の排水処理などで純水化にも対応。

### 点検用ドローン



超小型で軽量なドローン。狭い・高い場所の点検で活躍。

### 対象業界

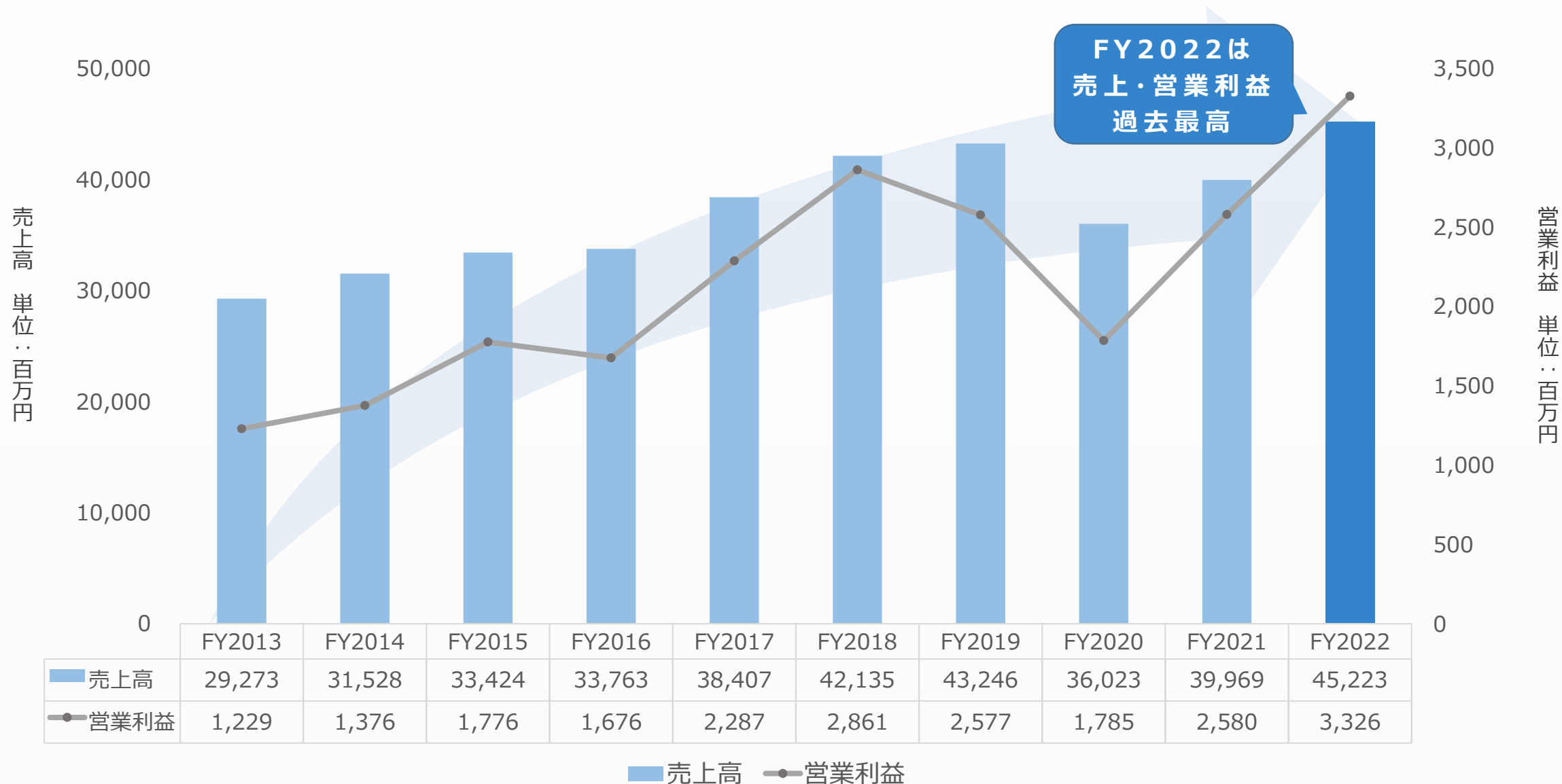
- 鉄鋼
- 自動車
- 電子・半導体
- 工作機械
- ゴム・タイヤ など

- 自動車
- 船舶
- 鉄鋼 など

- 鉄鋼
- 発電所
- 電子・半導体
- 医薬
- 環境 など

- 鉄鋼
- 自動車
- 電子・半導体
- 工作機械
- ゴム・タイヤ など

コロナ影響で一時減少も基本的には**右肩上がり**で成長



創業115年で一度も赤字なし

売上安定の礎となる「流れ・基礎品」と「顧客の幅広さ」  
(リピート品)

流れ・基礎品 (リピート品)

- 顧客が生産工程で使う機器・部品などの中でも**定期的に販売**があるもの (例: 一定期間経つと消耗などで交換が必要な部品)
- 1件あたりの販売額は大きくないが、全国各営業所・セグメントごとに積み上げられるため、**当社売上のベース**となる

不定期の  
大型設備投資など

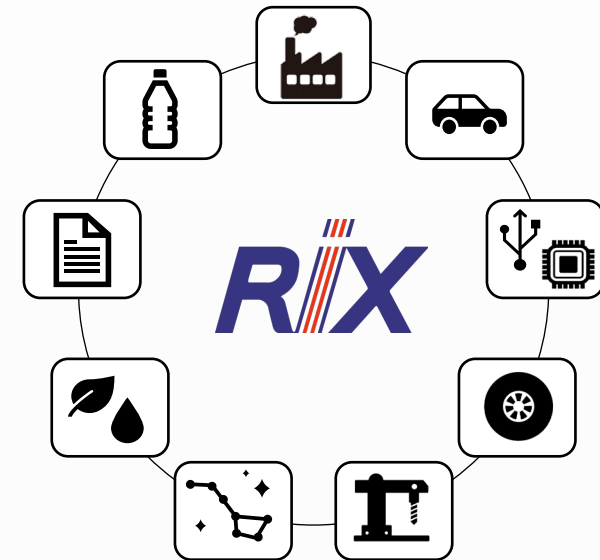
流れ・基礎品  
当社売上の※約50%

※単体国内の数字



顧客の幅広さ

1業界だけでなく幅広い顧客層を持つため  
リスク分散、経営の安定、景気に左右されにくい



# “メーカー商社”として顧客ニーズに幅広く対応可能



## メーカー商社



**技術力がある**

(自社工場と研究開発施設保有)

×



**取扱品数が多い**

(取引先約2,600社 商品数約3,000種)

||

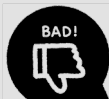
様々な顧客のニーズに応える

**高い課題解決力**

## メーカー



技術力が高い

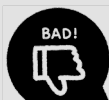


取扱品数が少ない

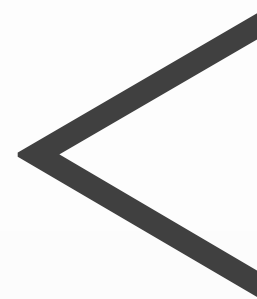
## 商社



取扱品数が多い



技術力が低い



**課題解決力**

(技術力×取扱品数)



# 当社の営業スタイル

point  
1

## 文字通り“顧客密着” 顧客工場近くに営業所

- 国内36か所 海外7か国8か所に営業所を展開
- いずれも顧客工場の近くに展開し、素早く対応

point  
2

## 作業着の汚れは勲章。現場に深く入り込む

- 営業担当は作業着を着て顧客工場に入り込む
- 生の現場を見ることで課題や情報を収集
- 時には顧客と同じように作業着を汚すほど現場密着

point  
3

## 115年で紡いだ顧客との信頼関係

- 創業115年以上で培った顧客との関係性で、ほかの商社では知り得ない情報を先回りで獲得
- 課題はチャンス。解決することでさらなる信頼関係を構築



# 新規範「RIXing Action」を実践できる人材の育成

リクシングアクション  
当社の社風などを9項目にまとめた「RIXing Action」(下記一例)

**RIXing Action No.1**

善悪を損得に優先させよ



それが、私たちの礎(いしずえ)です

**RIXing Action No.4**

明るく楽しく伸び伸びと



それが私たちのモットーです

**RIXing Action No.5**

世界のお客様の  
伴走者であり続けること



それが、私たちの使命です

**RIXing Action No.7**

取引先様にとって  
お客様との懸け橋になること



それが、私たちの存在価値です

## RIXing Actionとは？

RIXing Action (リクシングアクション) は、当社に脈々と受け継がれてきた経営理念・行動指針・社風・歴史・ビジネスモデルなどを表す総称。社員一人ひとりがRIXing Actionを念頭に行動することで、人材育成や定着、当社のファンを増加させる。

02

# 今期 第2四半期決算

売上高・営業利益・経常利益・四半期純利益

## 過去最高更新

### 2024年3月期第2四半期 決算概要

- 3期連続の増収増益で、売上高・各利益とも過去最高を更新
- ボリュームが大きい「鉄鋼」と「自動車」が前期比+約15%の伸長で売上高をけん引
- 通期業績予想および配当予想を上方修正（10/24）

売上高

23,656百万円

+ **11.7** %

営業利益

1,757百万円

+ **24.3** %

経常利益

2,031百万円

+ **17.1** %

四半期純利益

1,419百万円

+ **20.7** %

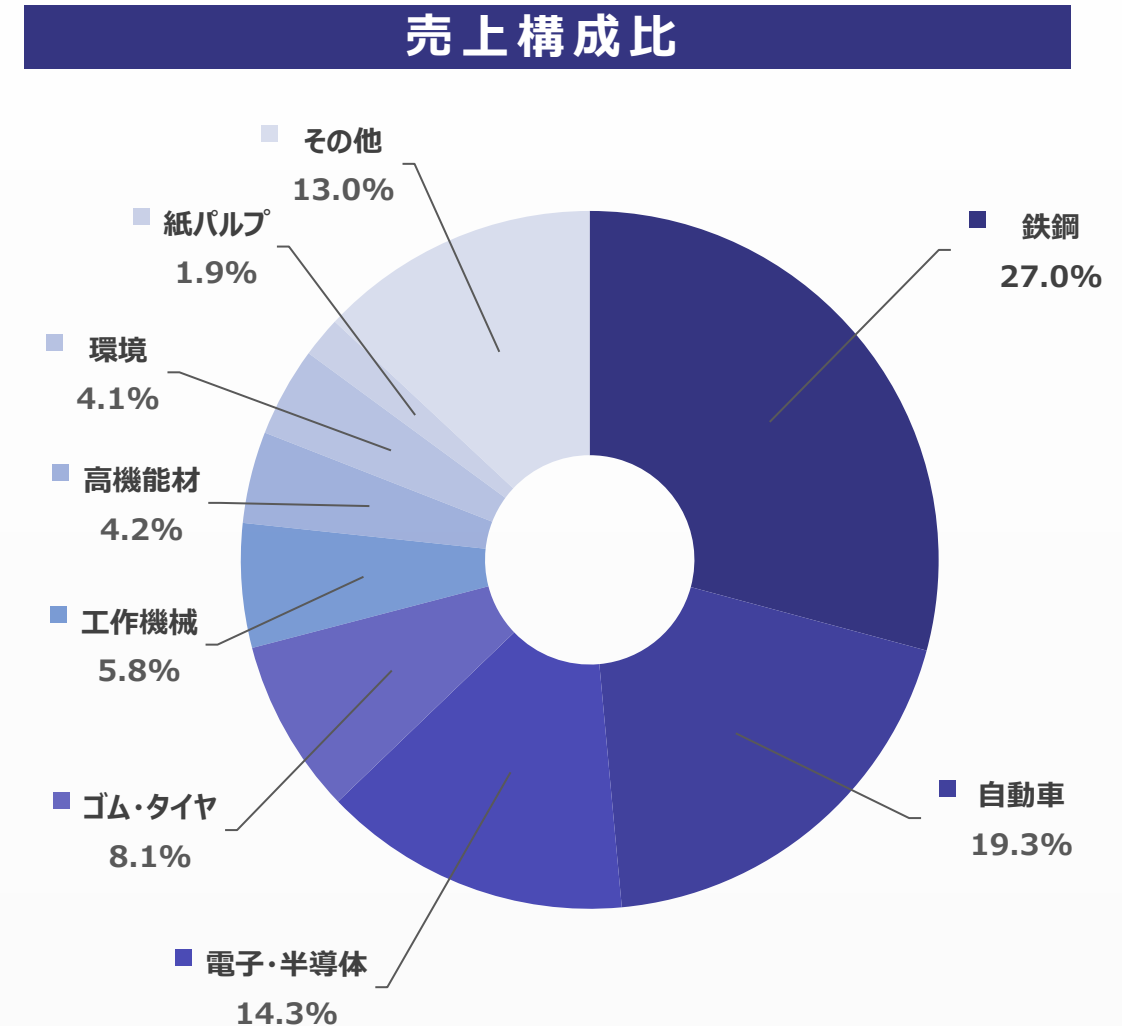
%はいずれも前年同期比

## 今期上期は期初予想を上回る順調な推移

(単位：百万円)	FY2022 (2Q)	FY2023 (2Q)	増減額	増減率 (%)	構成比
売上高	21,179	23,656	+2,476	+11.7%	100.0%
売上総利益	5,272	6,043	+770	+14.6%	25.5%
販管費	3,859	4,286	+426	+11.1%	18.1%
営業利益	1,413	1,757	+343	+24.3%	7.4%
経常利益	1,734	2,031	+297	+17.1%	8.6%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,176	1,419	+243	+20.7%	6.0%

ボリュームが大きい鉄鋼・自動車が2ケタ伸長  
 ゴム・タイヤも売上を大きく伸ばすなど、主要5セグメント全て前年同期比超え

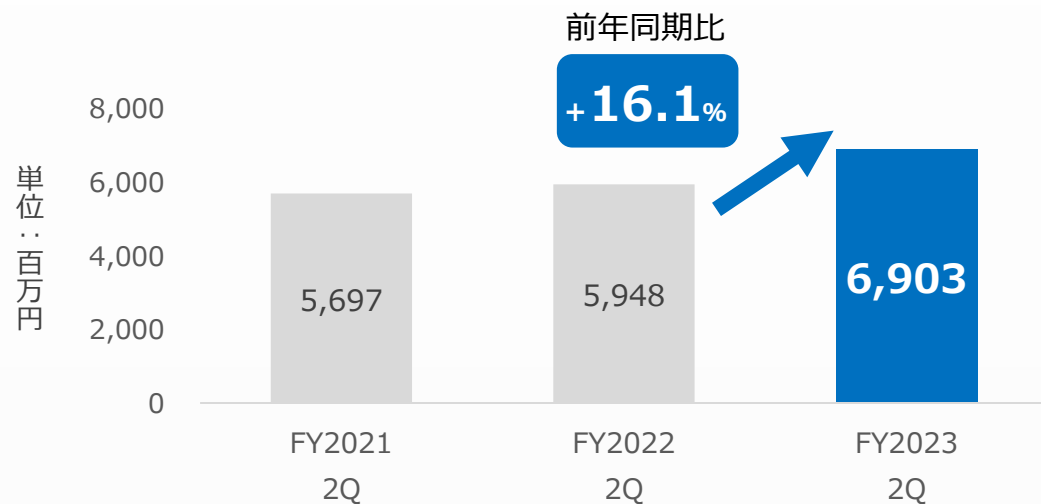
単位：百万円	FY2022 2Q	FY2023 2Q	前年同期比
鉄 鋼	5,948	<b>6,903</b>	+16.1%
自動車	3,991	<b>4,576</b>	+14.7%
電子・半導体	3,261	<b>3,380</b>	+3.6%
ゴム・タイヤ	1,243	<b>1,919</b>	+54.4%
工作機械	1,212	<b>1,361</b>	+12.3%
高機能材	1,098	<b>1,005</b>	△8.4%
環 境	1,147	<b>981</b>	△14.5%
紙パルプ	378	<b>443</b>	+17.3%
その他	2,899	<b>3,084</b>	+6.4%



## 鉄鋼

設備更新や増設・大型案件を獲得し  
過去最高（FY2019）に迫る売上

### 売上高推移



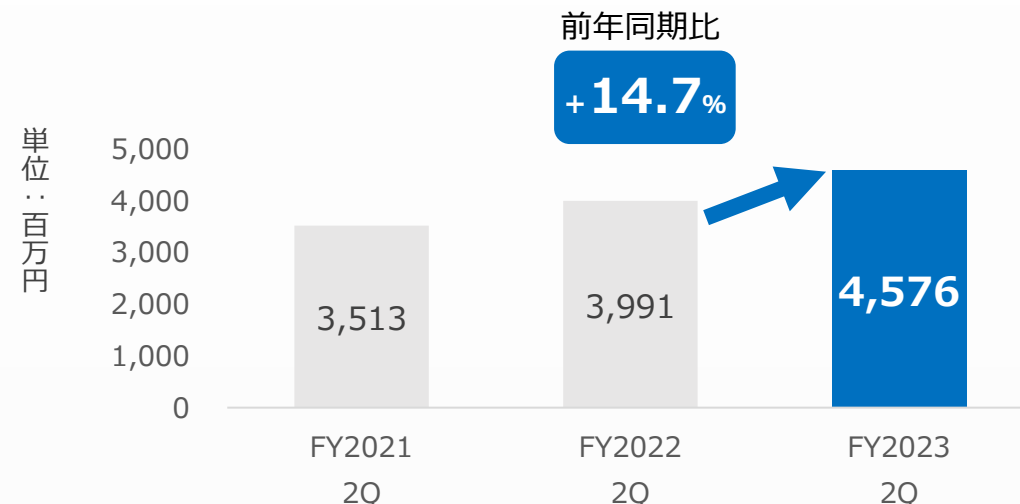
### 要因

粗鋼生産量の大きな影響を受けない整備部門への営業活動に注力し、既存設備の更新や増設、保全分野への深耕で大型案件を受注。

## 自動車

引き続き電池・モーター生産設備関連の売上が好調  
第2Q時点では過去最高の売上で推移

### 売上高推移



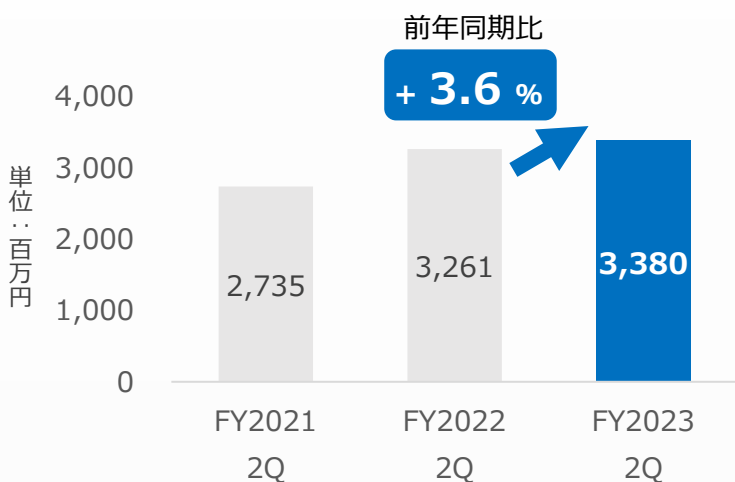
### 要因

CASE市場で注目される電池・モーター分野への営業に引き続き注力し、国内外の電池製造部門への部材販売や、当社専売仕入品であるインバーターの売上が好調

## 電子・半導体

自社製品が好調  
過去最高だった前年同期を更新

### 売上高推移



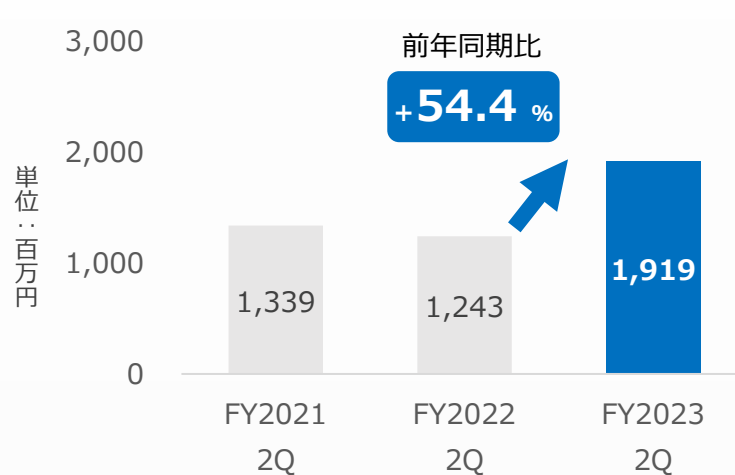
### 要因

得意とする修理・再生ビジネスに加え、幅広い工程に営業活動。当社オリジナル品の精密洗浄装置などの販売が増加。

## ゴム・タイヤ

設備投資の活況などにより  
全セグメント中、前年同期比で  
一番大きく伸長

### 売上高推移



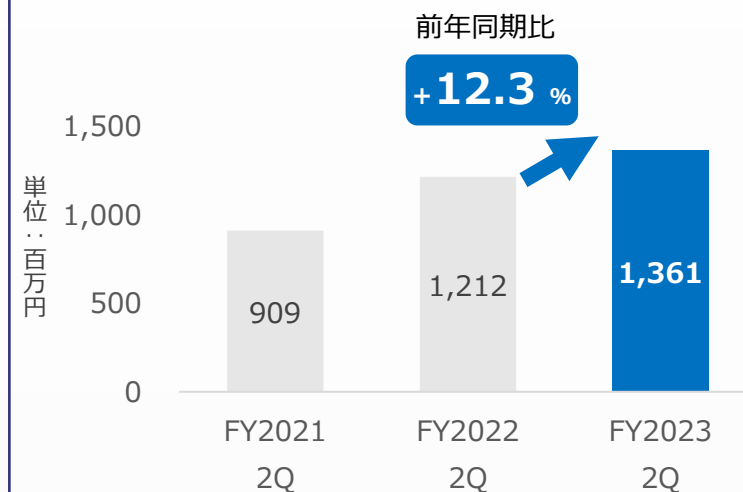
### 要因

設備投資や開発案件のフォローに注力。当社グループ会社製品のバルブが国内外問わず好調。装置部品の更新案件も受注した。

## 工作機械

加工時の冷却・潤滑に用いる  
クーラント関連の売上が伸び  
前年同期比で二桁成長

### 売上高推移



### 要因

クーラント装置メーカー向けにポンプ類の販売を増加させたほか、クーラント浄化システムの受注にも成功した。



03

# 今期 通期業績予想と株主還元

最終年度を迎える中期経営計画の集大成として  
**売上・営業利益・経常利益は2期連続の最高更新を目指す**

単位：百万円	FY2022	FY2023 予想	増減額	増減率	構成比
売上高	45,223	47,500	+2,277	+5.0%	100.0%
売上総利益	11,488	12,010	+522	+4.5%	25.3%
販管費	8,162	8,450	+288	+3.5%	17.8%
営業利益	3,326	3,560	+234	+7.0%	7.5%
経常利益	3,748	3,860	+112	+2.9%	8.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,763	2,690	▲73	△2.6%	5.7%

## 配当・配当性向 推移



## 配当性向

FY2022より  
連結 **40%**

## 配当利回り

2024年1月18日(木) 終値計算  
**3.58%**

## 株主優待

割当基準日	3月31日
優待内容	クオカード1,000円分 (100株以上300株未満)
	クオカード2,000円分 (300株以上500株未満)
	クオカード3,000円分 (500株以上1,000株未満)
	クオカード4,000円分 (1,000株以上10,000株未満)
	クオカード10,000円分 (10,000株以上)

4

## 成長戦略（長期経営計画とトピック）

## ビジョン

リックグループは、“販売・技術・製造・サービスの高度な融合とパートナーとの“協創”により、世界の産業界の課題解決のためのソリューションを提供します。

## LV2030 定量目標

連結売上高

**700** 億円

FY2022=452億円

連結営業利益

**56** 億円

FY2022=33億円

達成のため  
4つの軸

### 1. ビジネス領域

- 現状の業界・業種 (600億円)
- 成長分野 (100億円)
- 海外 (700億円のうち140億円)

### 2. 収益性

- 営業利益率 8%以上
- ROE11%以上
- オリジナル品比率55%以上

### 3. 人材・組織

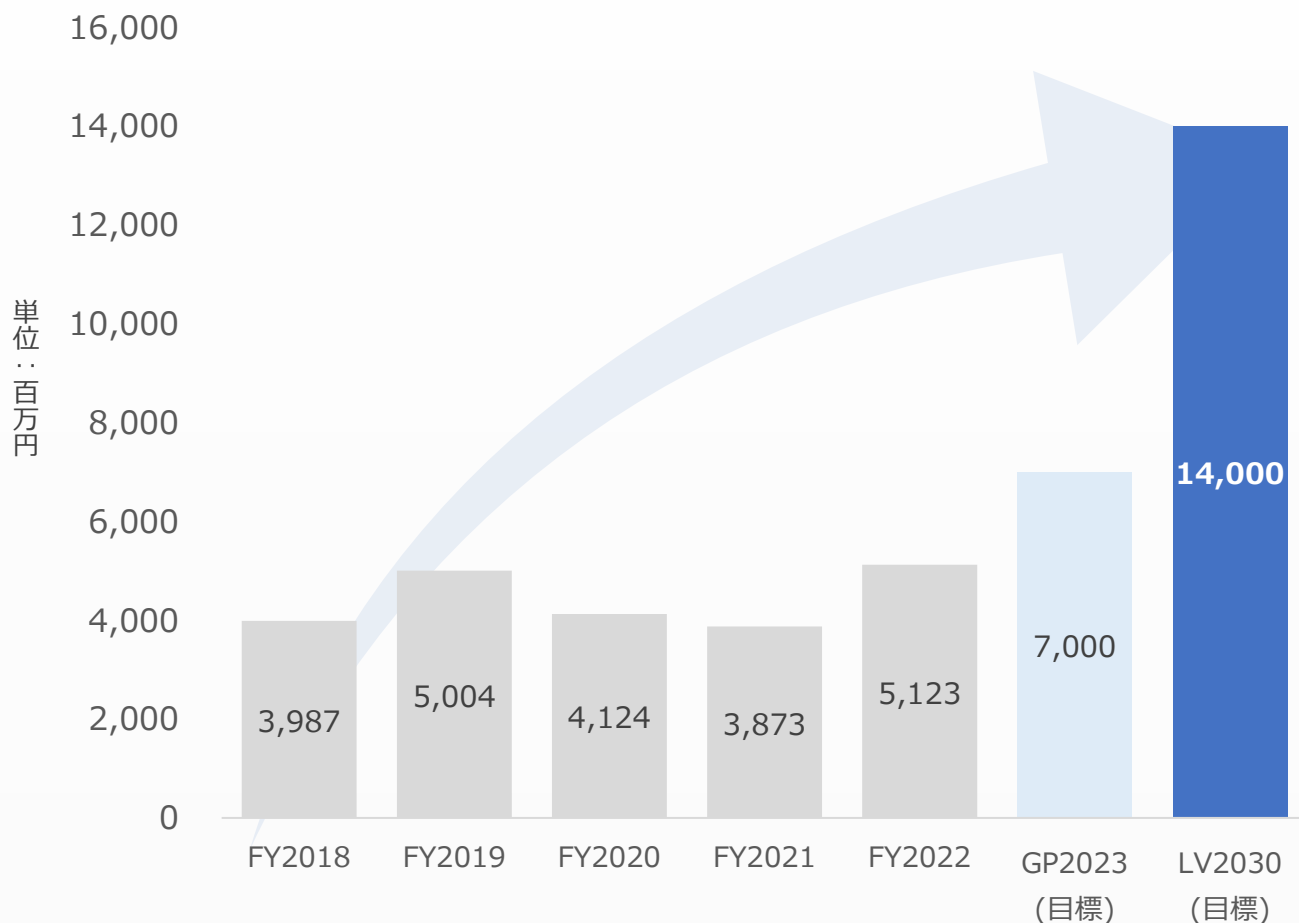
- ライフ・ワーク・バランスの充実
- RIXing Action を実践できる人材の育成と定着
- 社内外 協創 を実現する組織の構築

### 4. ステークホルダー・リレーションズ

- 当社ビジネスを通じた社会貢献
- ステークホルダーとのコミュニケーションの活性化

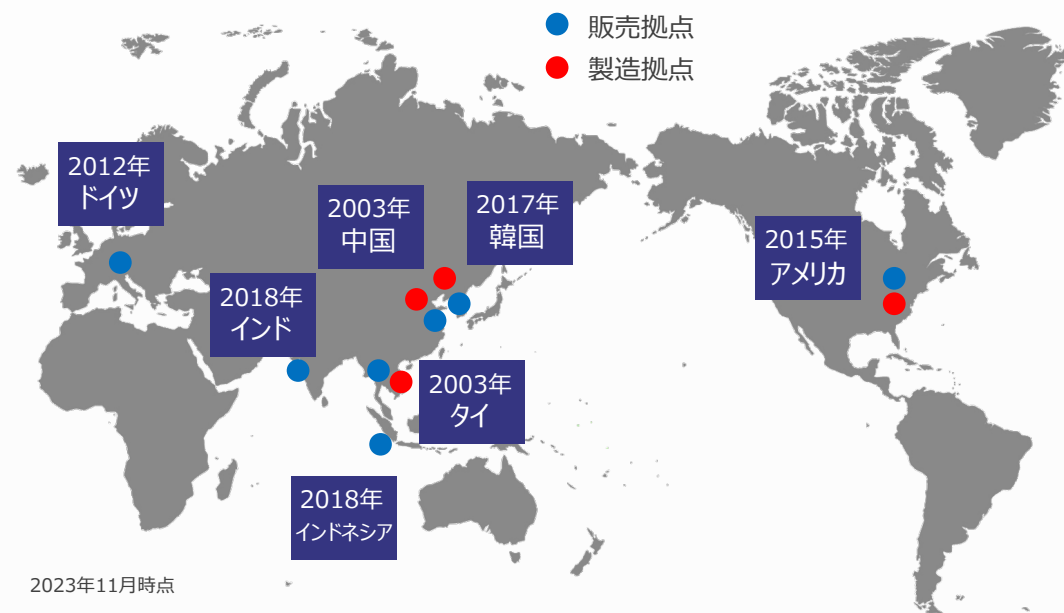
海外売上は、2030年度に現在の約2.7倍となる140億円を目指す

## 当社海外売上推移と目標



## 当社海外拠点

- 日系企業が海外に進出するタイミングで当社も拠点を展開し、顧客密着営業
- 日系企業の顧客が多い中、現地企業の開拓にも注力



当社海外売上比率 = 11.3% (2022年度)

内訳) 中国=4.5% / 北米=2.1% / タイ=1.6% / 欧州=1.2% / インド=0.5% / その他アジア=1.3%

## 産業のさらなる成長が見込まれるインドへの工場建設を決定 自社製品製造を強化し、海外売上の拡大を図る

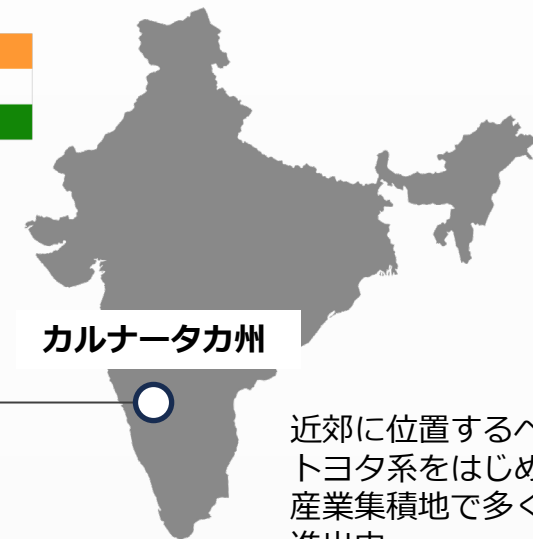
名称	RIX INDIA MANUFACTURING PRIVATE LIMITED
所在地	インド カルナータカ州 VASANTHA NARASAPURA 日本工業団地(JIT)（予定）
事業内容	自社製品（ロータリージョイント、オイルスキマー）の製造
資本金	3億7千万ルピー（約6億6千万円相当）
大株主及び持株比率	リックス株式会社 99.0% RIX INDIA TRADING & SERVICE PVT. LTD. 1.0%
当社インド拠点	営業拠点（ムンバイ/2018年設立）に次ぎ2拠点目



ロータリージョイント



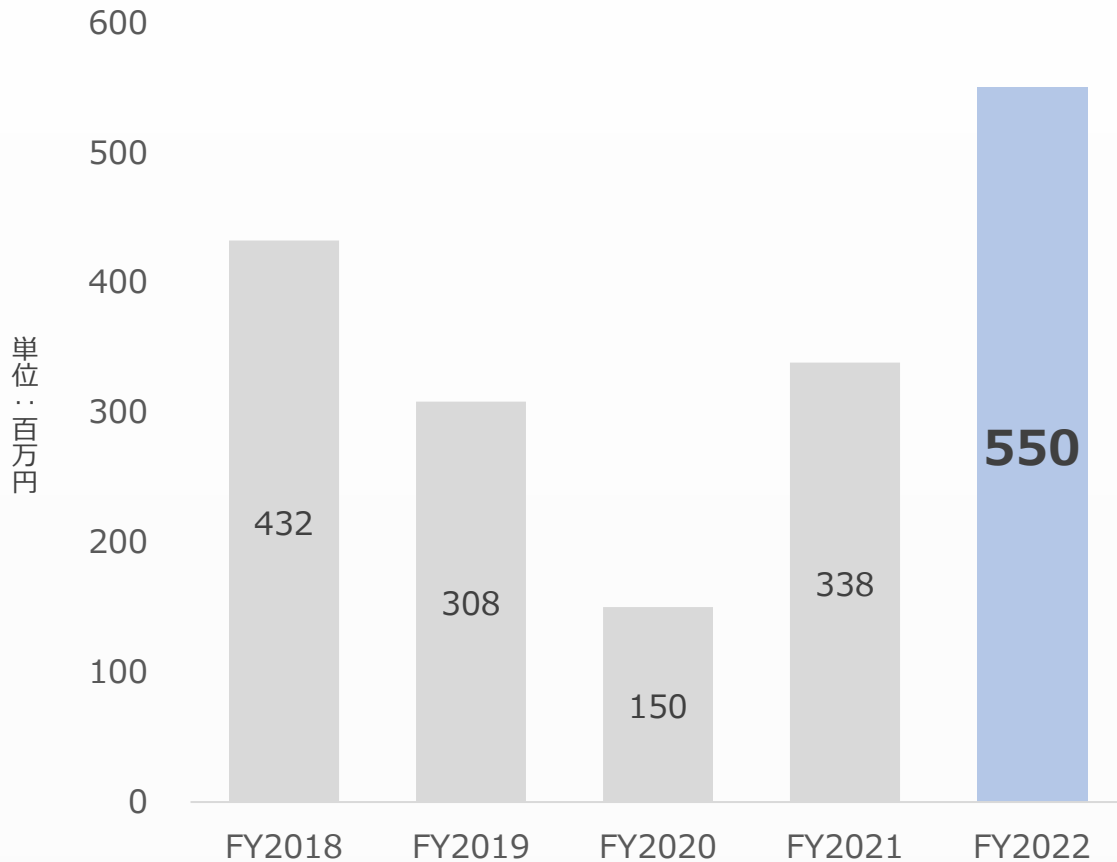
オイルスキマー



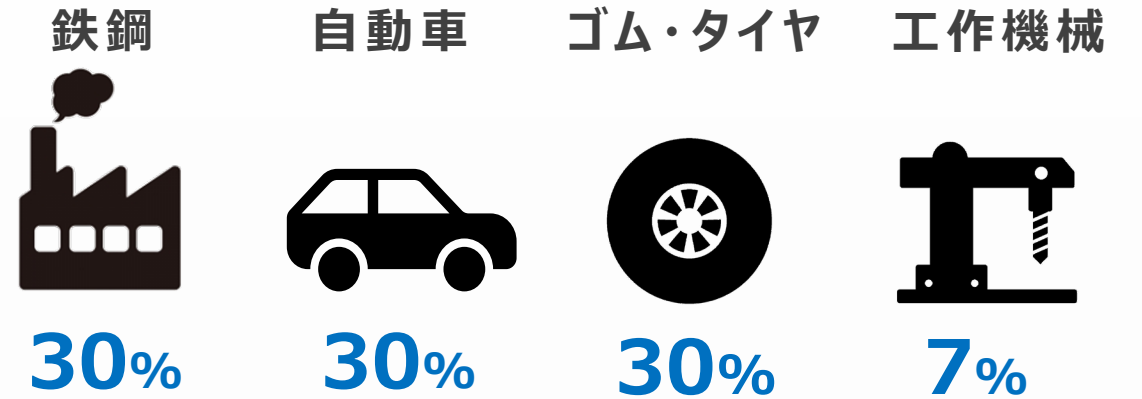
カルナータカ州

近郊に位置するベンガルールはトヨタ系をはじめとする自動車産業集積地で多くの日系企業が進出中

## 当社インド拠点の売上高推移



## インド顧客の業界



%は2022年度の売上総利益構成

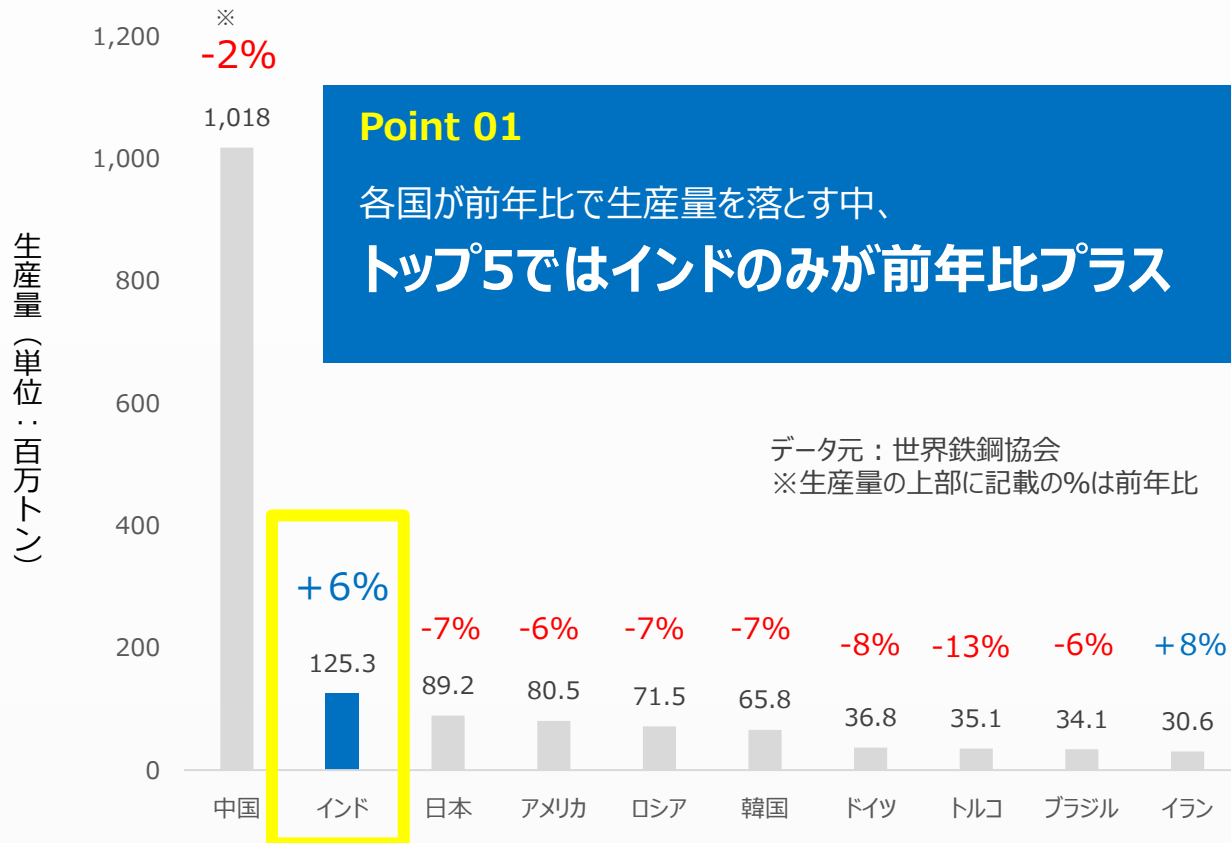
ものづくりの工場に必要な  
装置・部品などを販売  
(自社製品+仕入商品)





- インドの粗鋼生産量・鉄鋼需要は**世界2位**（2022年度）
- 今後も市場拡大を続け、**2050年には中国を超え世界トップ**になる見込み
- 当社としてもビジネスチャンス拡大の余地十分

## 2022年度 世界粗鋼生産量（トップ10）



### Point 01

各国が前年比で生産量を落とす中、  
**トップ5ではインドのみが前年比プラス**

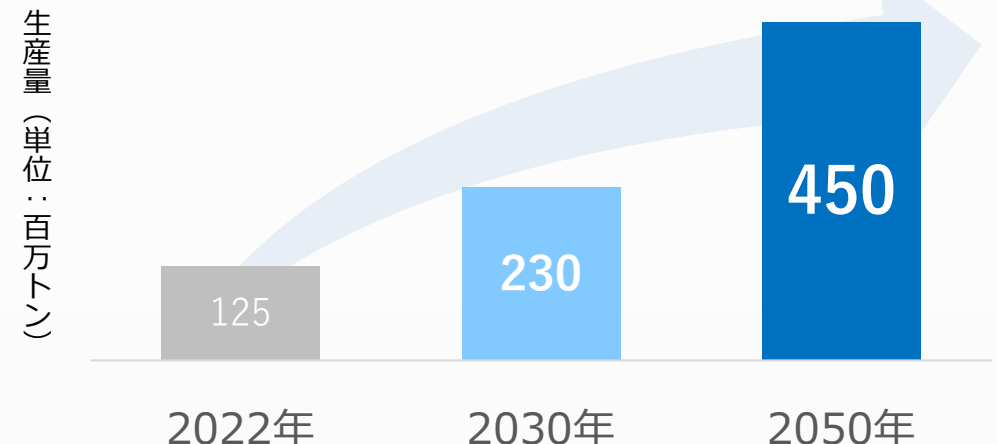
## インドの粗鋼生産量 成長予測

### Point 02

2050年度には現在の約3.6倍の粗鋼生産量に拡大  
**中国を抜き世界トップになる見込み**

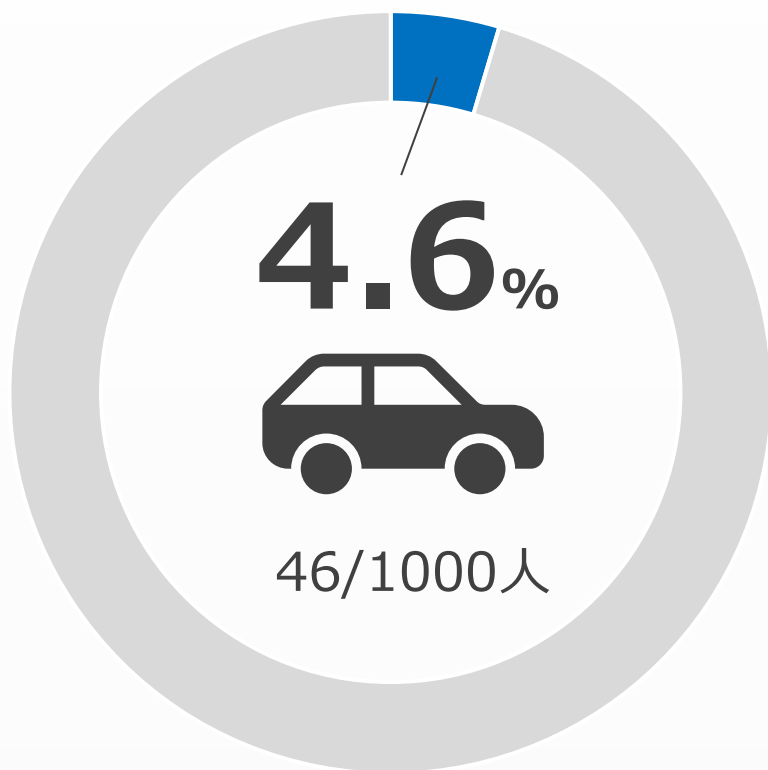
（予想：インド鉄鋼協会）

データ元：インド鉄鋼協会



- インドの自動車保有率は世界基準では低水準で市場拡大の余地十分
- 販売台数は増加傾向で2022年度には日本を抜き3位に **2030年度には現在の約2倍**を見込む
- 当社としてもビジネスチャンス拡大の余地は十分

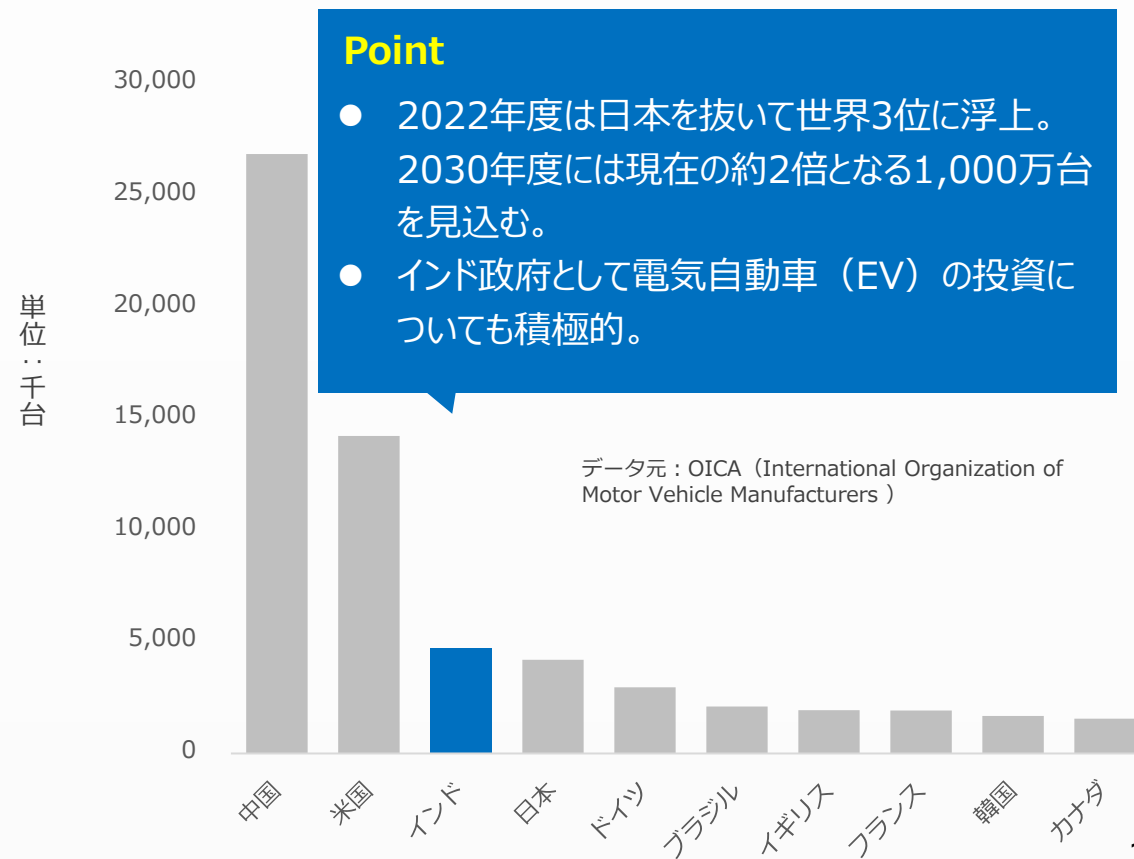
## インドの1000人あたり自動車保有率



比較：日本=78%、韓国=49%、中国=22%

データ元：FOURIN アジア自動車調査月報

## 2022年度 世界の自動車販売台数



## インドに拠点を置く工作機械メーカーに当社製ロータリージョイントを販売

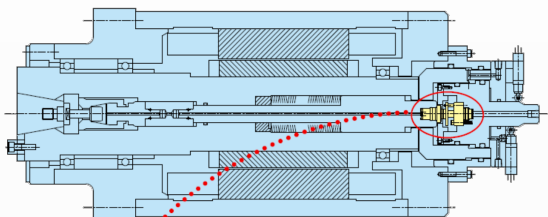
### 工作機械とは

金属や樹脂を、切断・穴あけ・折り曲げなど加工するマシン

### スピンドル（主軸）に内蔵される当社製ロータリージョイント

工作機械には、対象物を削るドリルを回転させる「スピンドル」という部位があり、その内部に当社製ロータリージョイントが内蔵

■スピンドル(主軸) 拡大図

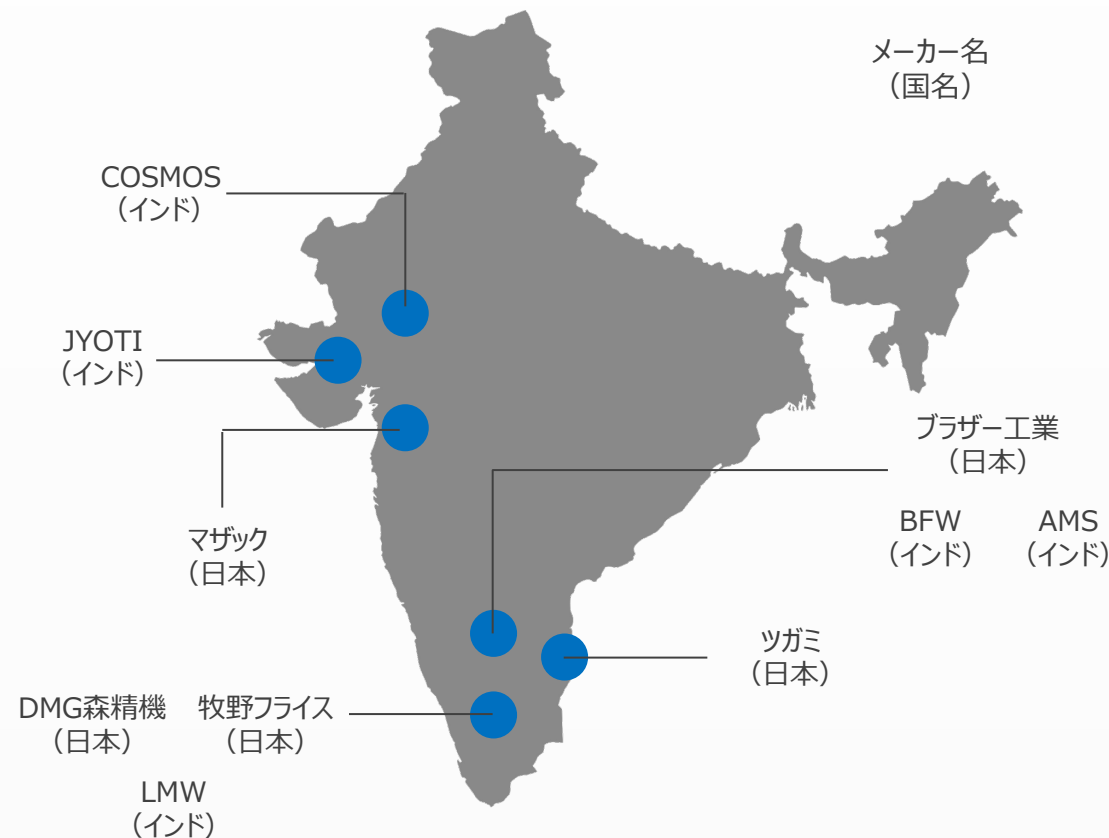


当社製 ロータリージョイント

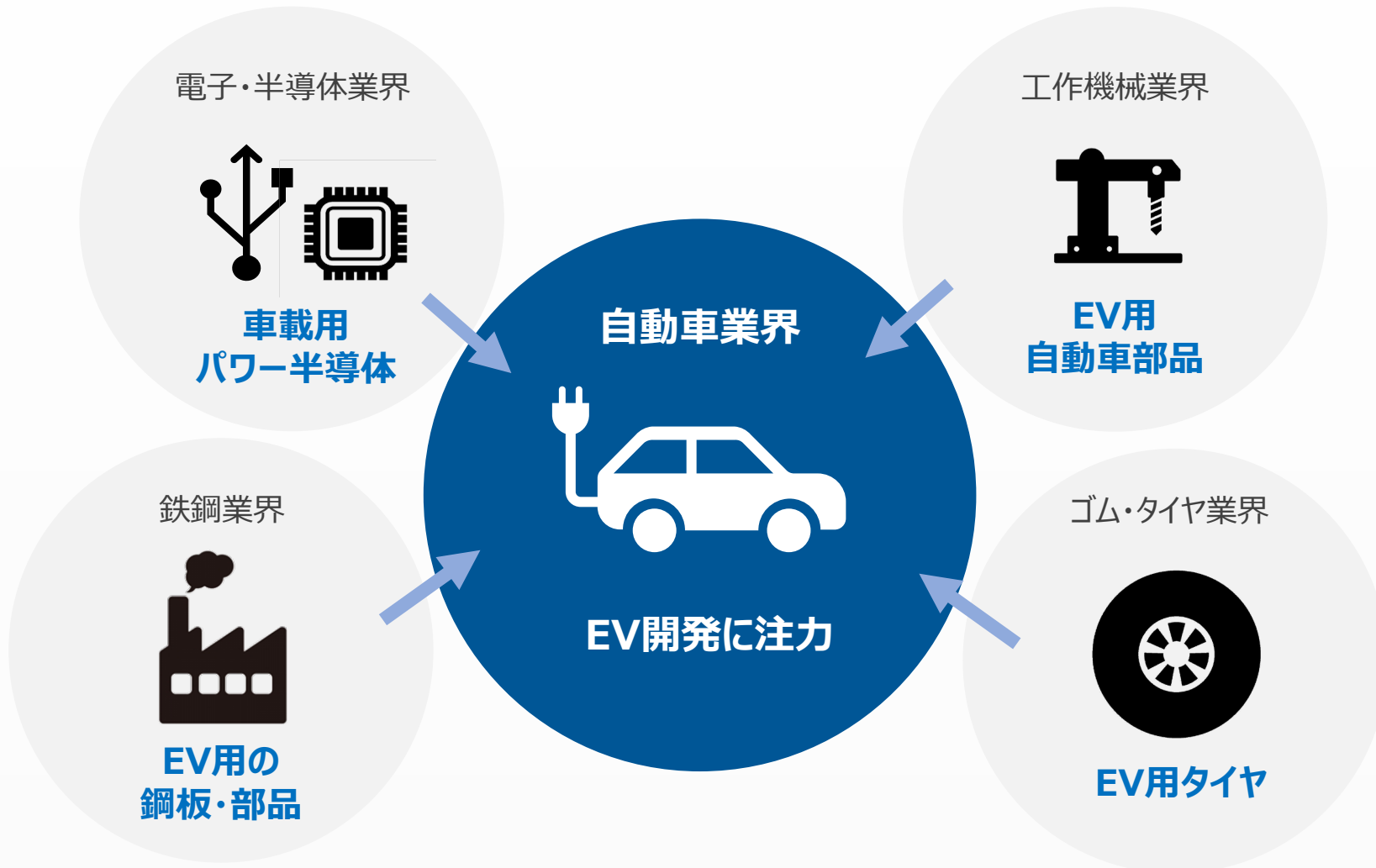
**特許取得するなど  
高い技術力を保有**

販売

日系の工作機械メーカーがインドに進出・工場建設中  
地場メーカーも続々と新工場を建設



## EV開発に関する各業界の取り組み



### Point 01

自動車業界がEV開発に注力  
することで他業界も追従

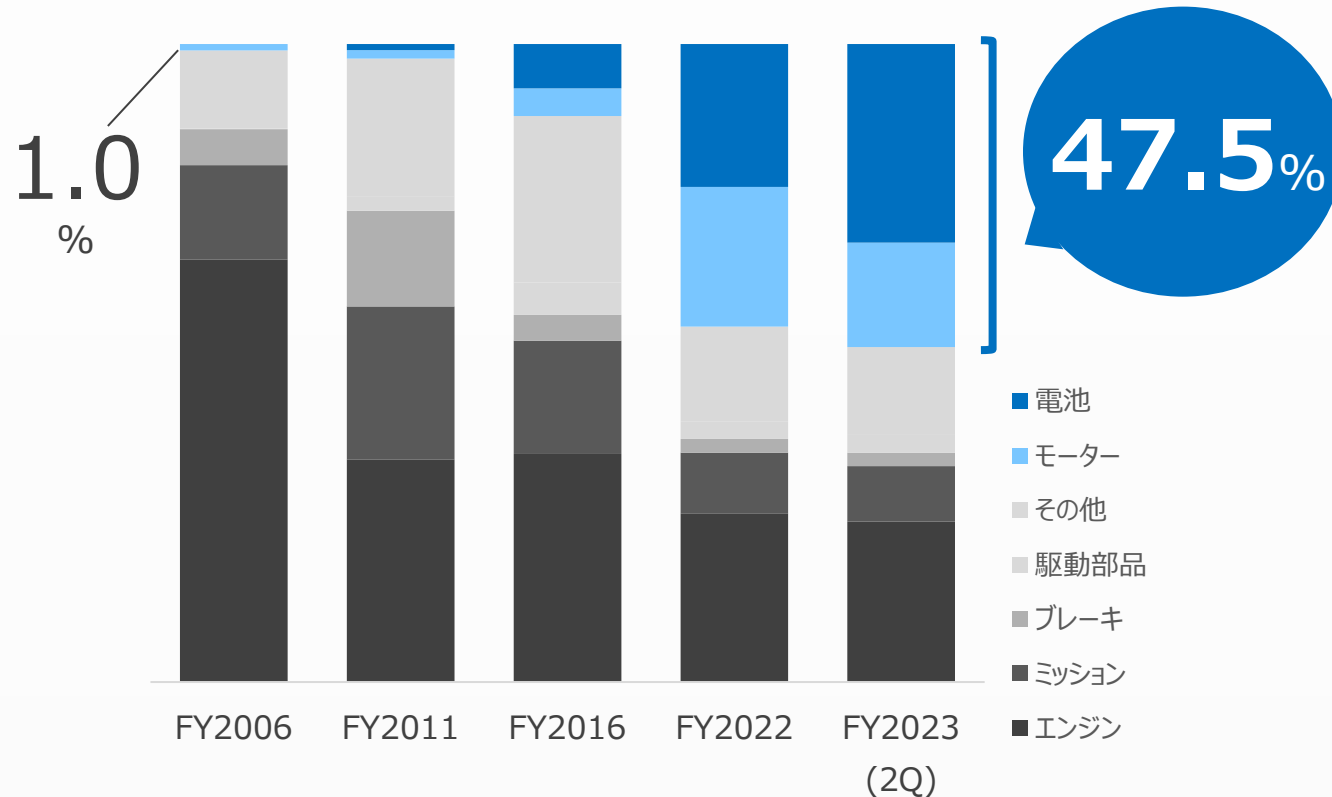
### Point 02

当社は自動車業界だけでなく  
EVに関わる様々な業界に機器・  
部品・ソリューションなどを提供

## 対自動車業界「電池・モーター関連」の売上伸長

### 対自動車業界における当社売上構成比推移

全体的な売上額は増加させつつEV・HEVの生産ラインに関わる「電池・モーター関連」の売上を拡大



### EV・HEV生産ライン向けの自社製品

商社として仕入れた商品を販売するだけでなくEV・HEVの生産ライン向けに自社製品も開発・販売



※いずれも2022年度販売開始

## 開発 経緯・目的

- 当社は**流体関連機器の技術やノウハウを創業115年で培ってきた。**
- 海水に強いFRPポンプや、ポンプを制御するインバーター、フィルターなど、**陸上養殖設備に関する機器を当社グループ内で取り扱っている。**
- 上記を結集することで、**漁獲量減少、赤潮発生、食料不足などの社会課題を解決**するための陸上養殖設備の開発を推進する。



▲ 開発中の陸上養殖設備



▲ ▼ 実証実験の設備で養殖中の魚



オリジナル品比率向上へ 当社の次の軸となる新製品開発を推進

# リックス協創センター 建設決定



リックス協創センター イメージ図

## 目的

既存製品にとらわれない

## 新製品・商品・サービス開発

顧客課題・社会課題  
解決

+

オリジナル品比率向上  
(競争力・営業利益UP)

## 建物概要

所在地	福岡県糟屋郡粕屋町
施設用途	流体制御技術を軸とした新製品の研究・開発
面積・構造	1,055㎡ (延べ床面積3,802㎡) 地上4階建て
建物内部	組立室、実験室、計測室、設計室、クリーンルームなど
着手・完成	着手 = 2023年3月1日 完成 = 2024年夏 (予定)
投資額	約19億5千万円 (当社として過去最高の投資額)
その他	環境・省エネ対策としてNearly ZEB採用



**第2Qまでは過去最高の業績で推移。通期でも過去最高の更新を予想**



**自社製品の製造工場をインドに設立決定。海外売上拡大を図る。**



**EV・HEV関連で売上拡大。陸上養殖設備など成長分野にも挑戦。**

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。

当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、当社は、新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものでもありません。